



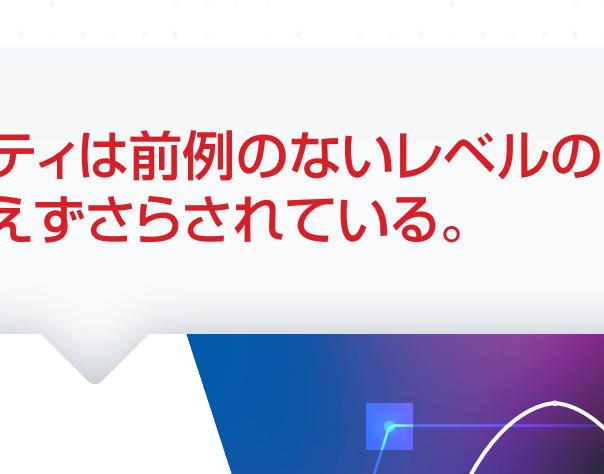
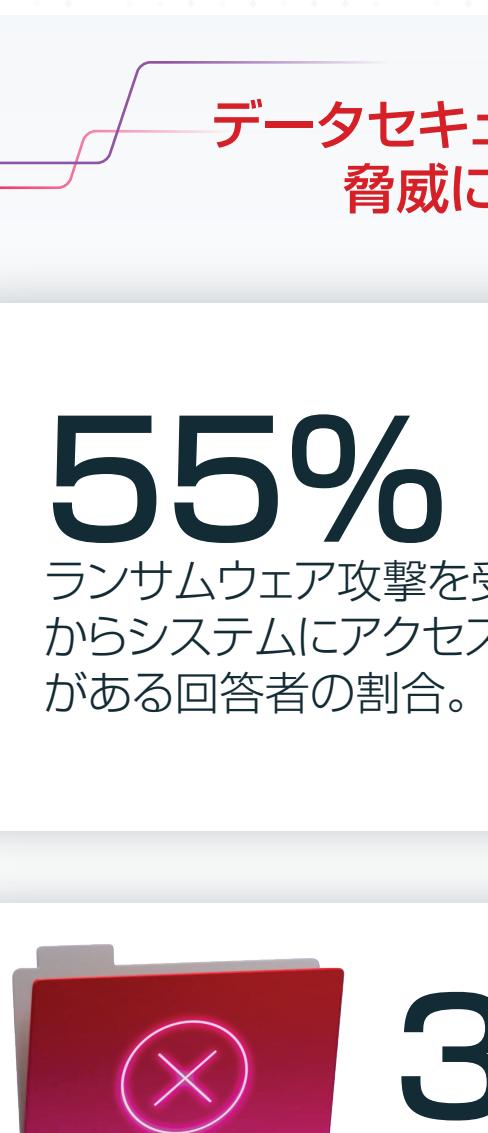
データリスク管理

市場の現状 - サイバーからコンプライアンスまで

新たなリスクやリスクの認識は、成功に大きな影響を及ぼす可能性があります。日本におけるランサムウェア攻撃の発生件数は世界平均を下回っていますが、それでも各企業はデータセキュリティを最大の脅威と考えており、予算の増加、データセキュリティ業務へのスタッフ配置など、リスクを軽減するための対策を講じています。

データセキュリティは企業にとって最大のリスクである。

回答者は上位 3 つのリスクを次のように評価しました。



83%
直面しているリスクから経済的損失や風評被害などの実害が生じたことのある回答者の割合。

データセキュリティは前例のないレベルの脅威に絶えずさらされている。

55%

ランサムウェア攻撃を受け、攻撃者からシステムにアクセスされたことがある回答者の割合。



環境ごとの平均データ損失率

15%
パブリッククラウド環境

14%
オンプレミスデータセンター

14%
エッジ環境

13%
プライベートクラウド環境

各企業は、データ保護予算とスタッフを増やして対応している。

31%

測定対象のすべての環境の平均予算増。

(オンプレミス、プライベートクラウド、パブリッククラウド)

24 ~ 25 人

データ保護チームとデータセキュリティチームのスタッフ数の増加平均。

企業の安全性の維持に十分な人員を確保していると考えている割合。

83%

リスクレベルが高まっている。

過去 12 ヶ月間のあらゆる種類のリスクが対象:

↑ 39%
リスクのレベルが上がっていると回答した割合。

↓ 23%
リスクのレベルが下がっていると回答した割合。

一部の企業にとって、リスクのレベルは耐えきれないものになる。

データセキュリティのリスク評価

データセキュリティのリスク評価</